



## 北斗句会

九月定例会（二日 偕行社）

兼題 実 踊

五十音順

特は特選 石田きよし選

枝豆を飛ばしつこして鳥を呼ぶ

大崎石州

尊 兄が逝き順繰り上がる秋の蝶

太田黒幸風

三つ栗の孵化の如くに毬を割る

大森康政

空地ながむ中止されたる盆踊

竹内雲泉

尊 渴きたる蚯蚓の軀朝の黙

田中資凡

尊 樟の香や踊り浴衣のたたみ皺

長池豆陽

嫋嫋と胡弓の余韻風の盆

深見十万

何もせて生きて八十路や酔芙蓉

藤田紀潮

盆踊り十年ぶりにめぐり合ふ

宮下ひかる

コロナ禍や踊り中止の回覧板

森田光彦

尊 夕月夜長椅子ひとつ出されをり

山縣秀雄

伍勤兵長殿の小隊支那の秋

吉岡誠山



盆東風を入るる下りの湖西線

石田きよし